

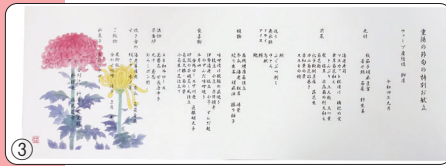
重陽

の

報告①
大阪・東京編

株式会社松よし人形 ウェーブ産経のイベントにて今年も七段飾り披露

大阪府大阪市天王寺区



画像提供／ウェーブ産経大阪事務局

①大広間「鶴亀」の能舞台に飾られた七段飾り「七番金彩京刺繍」。遠くからでも艶やかな雰囲気が伝わる。②藤丸料理長による献立の説明。③お品書き「重陽の節句の特別お献立」。④特別会席「重陽の節句の特別お献立」の料理。実に豪華！

産経新聞社ウェーブ産経大阪事務局主催の「料亭『天王殿』四季の味“大人の雛祭り、重陽の節句を祝う特別会席”が9月5、6、7、9日の計4日間開催された。全日程の参加者は合計で51名。同企画は「天王殿」（大阪府大阪市）で季節ごとにランチを楽しむシリーズ企画で今回第10弾となった。

特別会席は同料亭の藤丸道幸料理長が吟味した初秋の味覚三昧。「重陽の節句の特別お献立」には秋茄子、菊菜、秋鮭、栗、梨などを使った料理が登場。G20大阪サミットでも使用された大広間「鶴亀」において、参加者は特別会席に舌鼓をうった。

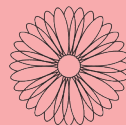
重陽の節句ということで欠かせないのが雛飾り。今年も能舞台には株式会社松よし人形の七段飾り「七番金彩京刺繍」が設営された。同社の面高有紀氏は「大広間で飾れることは嬉しい。年々飾りの小型化が進んでいるため、大きな七段飾りを飾る機会が減り寂し

さを感じる」と話す。選定製作を担当した同社の酒井輝一氏はポイントをこう話す。「遠くからでも煌びやかさが伝わる衣裳や道具である点を重視。特に人形は見栄えの良い飾りを毎年選定している」。

松よし人形が自信をもって選定した七段飾りに多くの参加者が目を奪われたようだ。「近くでまじまじと見てくださる様子が微笑ましかった」と笑顔の面高氏。リピーターにも楽しんでいただきたいと昨年とは違う飾りを設営するなど工夫を凝らす。

参加者からは「今年も楽しみに来た。やっぱりお雛様はいい。素晴らしい」「こうやって見られる機会があるのはとっても嬉しい。飾っていただいてありがとう」「来年も飾ってくださいね」といった声が届いている。

贅沢な空間で味わう豪華な食事と、雅な雛飾り。健康と長寿を願う重陽の節句ならではの時間が流れたようだ。



2022年

節句

後の雛 大人の雛祭り

重陽の節句である旧暦9月9日、新暦の10月中旬となります。2022年は10月4日でした。9月から10月にかけて各地ではイベントが開催されます。自社での開催をはじめ、地域のイベントに協力する各社から情報をお寄せいただきました。その様子をお伝えします。

株式会社吉徳 「わたしのおひなさまフェア」開催

東京都台東区浅草橋



吉徳浅草橋本店の売り場は今年も華やいだ。左画像は「百歳雛 衣裳着親王飾り」

株式会社吉徳浅草橋本店では、毎年恒例となった「重陽の節句 わたしのおひなさまフェア～ひな祭りはすべての女性が心躍る季節のおまつり～」が今年も8月15日（月）から10月8日（土）まで開催された。衣裳着人形や木目込人形、雛道具がところ狭しと並び、めでたさ際立つ一角となった。

組み合わせ自由の単品コーナーは今

年も好評。煌びやかな女雛、男雛、雪洞などの御小道具、屏風の組み合わせを考えるだけでも心が躍る。

「今年も大人のためのひな人形を数多く揃えることができたと思う。重陽の節句イベントを開催する企業は少なくなっていると思うが、多くの人に健康な毎日を願っていただけるよう、可能な限り続けていきたい」（担当者）。

報告②【次回予告】

次号12号の「報告②」では埼玉県さいたま市岩槻区で開催された「第9回人形のまち岩槻 重陽・菊の節句」をレポートします！10月1日（土）から16日間、参加店や岩槻駅周辺にてイベント



第8回（2021年）の様子

が実施されました。料亭や資料館で実施された「重陽食文化めぐり」「後の雛めぐり」についても報告します。乞うご期待！

